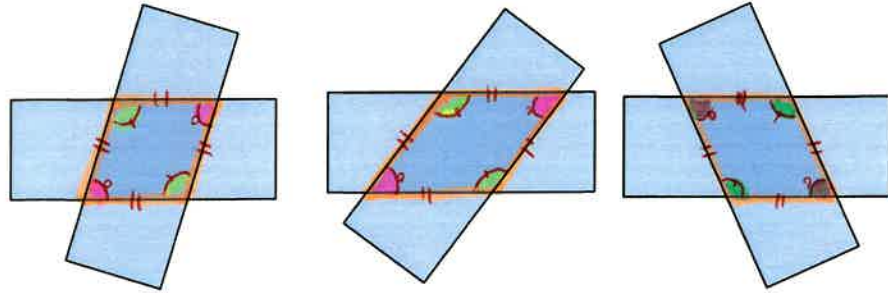


② ひし形の定義とその性質について理解する。

<b>23</b>	基本	垂直・平行と四角形	四角形-2	学習日	/
-----------	----	-----------	-------	-----	---

- 1 形も大きさも同じ長方形の紙を2まい重ねると、どんな四角形ができるか調べて ( )にあてはまることばを [ ] からえらんで書きましょう。(8点×4)  
(コンパスや分度器を使って調べましょう。)



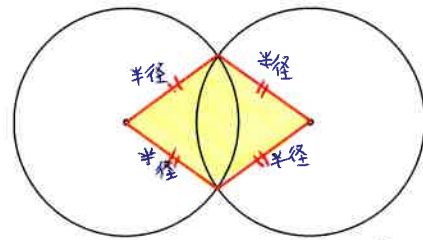
- できた四角形の4つの辺の長さは、みんな( **等しく** )なっています。
- 向かいあった角の大きさは、( **等しく** )なっています。
- 向かいあった辺は( **平行** )です。
- 辺の長さがみんな等しい四角形を( **ひし形** )といいます。

平行・等しく・等しく・平行四辺形・ひし形

辺の長さがみんな等しい四角形を **ひし形** といいます。



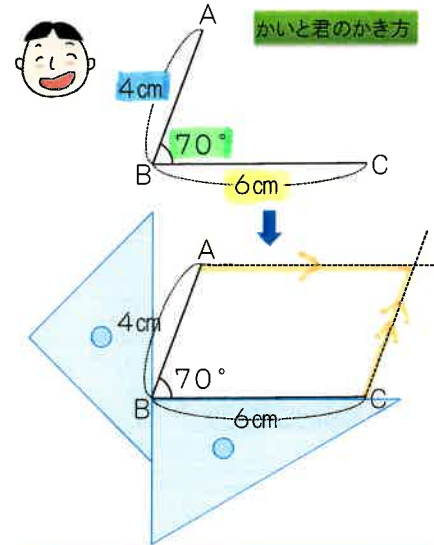
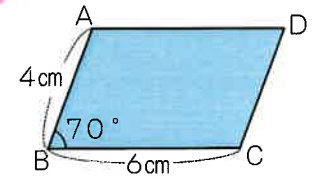
- 2 半径が等しい円を2つかけ、交わった点と中心を直線でつなぐと、ひし形ができます。そのわけを説明しましょう。(18点)



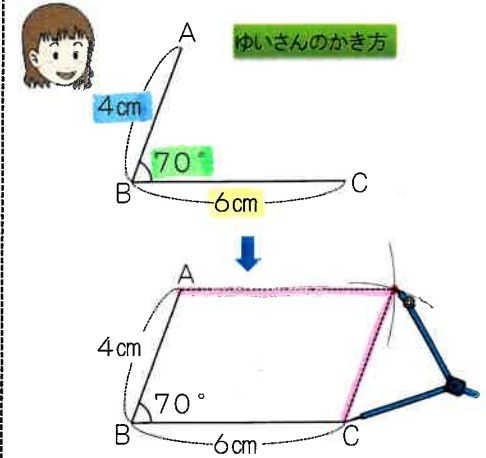
辺の長さが **みんな等しくなる** からです。  
(円の半径に)

③ 平行四辺形の定義や性質をもとに、作図する。

- 3 右のような平行四辺形のかき方をかいと君とゆいさんが説明しています。図を見て( )にあてはまる数やことばを書きましょう。(15点×2)

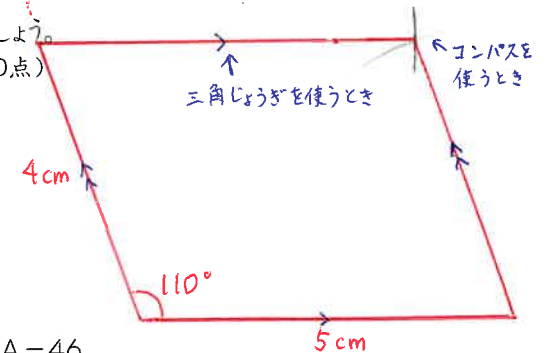
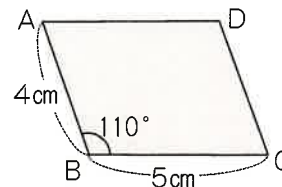


まず6cmの辺をかいてから、間の角が( **70°** )になるように( **4cm** )の辺をかきます。次に向かい合った辺が( **平行** )だから、三角じょうぎを使って向かいあった辺を( **平行** )にかきます。



まず6cmの辺をかいてから、間の角が( **70°** )になるように( **4cm** )の辺をかきます。次に向かい合った辺の長さが( **等しい** )から、コンパスで向かい合った辺を( **等しく** )かきます。

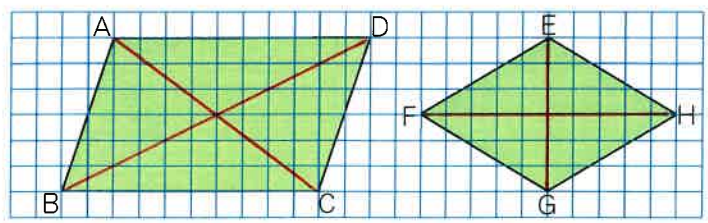
- 4 下のような平行四辺形をかきましよう。(20点)



⑥ 対角線について知り、平行四辺形やひし形の対角線の交わり方を調べる。

<b>24</b>	基本	垂直・平行と四角形	対角線と四角形	学習日	/
-----------	----	-----------	---------	-----	---

1 下の平行四辺形、ひし形の向かいあった頂点を直線で結び、結んだ図を見て ( ) にあてはまることばを [ ] からえらんで書きましょう。 (5点×3)



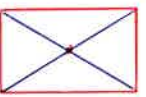
四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を対角線といいます。



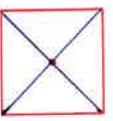
- (1) 四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を( **対角線** )といいます。
  - (2) 平行四辺形の2つの対角線は、それぞれの( **まん中の点** )で交わります。
  - (3) ひし形の2つの対角線は( **垂直** )で、それぞれの( **まん中の点** )で交わります。
- まん中の点 ・ 垂直 ・ 対角線

2 長方形や正方形の対角線について考えます。( ) にあてはまることばを [ ] からえらんで書きましょう。(同じことばを2度使ってもよい) (5点×5)

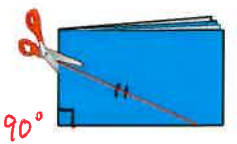
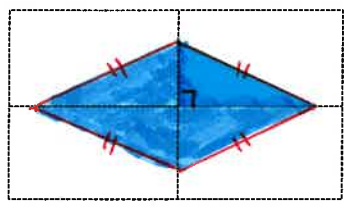
- (1) 長方形の対角線の長さは( **等しく** ), それぞれの( **まん中の点** )で交わります。
- (2) 正方形の対角線の長さは( **等しく** ), それぞれの( **まん中の点** )で交わります。また、正方形の対角線は( **垂直** )に交わります。



まん中の点 ・ 等しく ・ 垂直



3 紙を下図のように折り、—のところで切り取って広げると、どんな形ができますか。広げたときの形を図にかいて答えましょう。 (10点)



答え( **ひし形** )

⑦ 四角形を対角線で切ったときにできる三角形について考える。

4 長方形の紙を2つの対角線で4つに切ります。あとの問題に答えましょう。

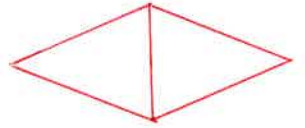
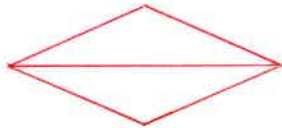
- (1) ⑦ どんな三角形ができますか。 (5点×2)  
[ **二等辺三角形** ]



⑧ ⑦の三角形になるわけをかきましょう。

[ 2つの辺の長さが等しくなっているから。  
(長方形の対角線の長さは等しく、それぞれのまん中の点で交わるから。) ]

- (2) 切り取った三角形を2まいずつならべて、ひし形を2つつります。どのようにならべればよいでしょうか。かんたんに、ならべた時の図をかきましょう。 (10点)  
[ 図 ]

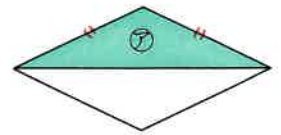


5 ひし形を対角線で切ったときにできる三角形について調べます。

- (1) ⑨ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましょう。(5点×2)

[ **二等辺三角形** ]

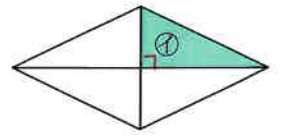
[ 2つの辺の長さが等しくなっているから。 ]



- (2) ⑩ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましょう。(5点×2)

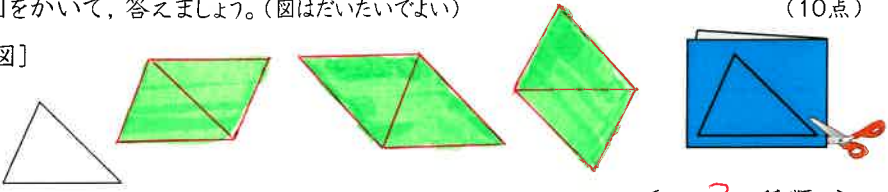
[ **直角三角形** ]

[ 直角がある三角形だから。  
(ひし形の対角線は垂直に交わるから。) ]



6 右下のようにして切り取った形も大きさも同じ2まいの三角形を組みあわせて、平行四辺形をつります。何種類の平行四辺形ができますか。ならべた時の図をかいて、答えましょう。(図はだいたいよい) (10点)

[ 図 ]



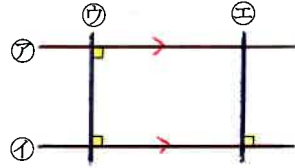
[ **3種類** ]

⑩ 学習内容の理解を確認する。

<b>25</b>	基本	垂直・平行と四角形	まとめ	学習日	/
-----------	----	-----------	-----	-----	---

1 ( )にあてはまることばを書きましょう。(5点×3)

- (1) 直線㉗と直線㉘は( **平行** )です。  
 (2) 直線㉗と直線㉙は( **垂直** )です。  
 (3) 直線㉘と直線㉙は( **垂直** )です。



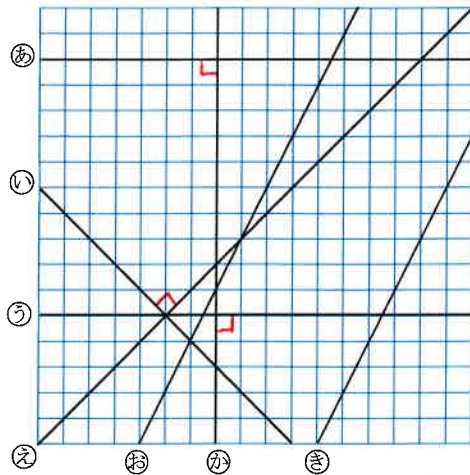
2 下の図で、**垂直**や**平行**になっている直線を調べます。(5点×5)

(1) **垂直**な直線はどれですか。

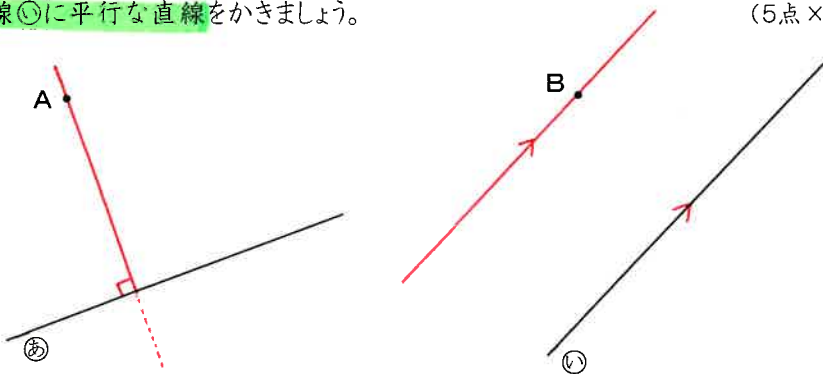
- ( **あ** ) と ( **か** )  
 ( **い** ) と ( **え** )  
 ( **う** ) と ( **か** )

(2) **平行**な直線はどれですか。

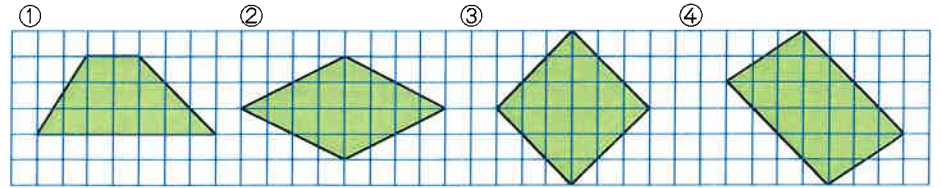
- ( **あ** ) と ( **う** )  
 ( **お** ) と ( **き** )



3 1組の三角じょうぎを使って、**点A**を**通**って直線㉘に**垂直**な直線と、**点B**を**通**って直線㉙に**平行**な直線をかきましょう。(5点×2)



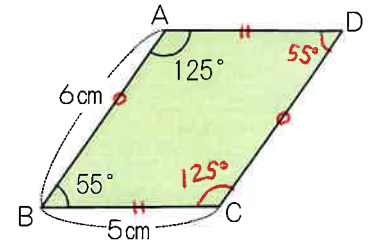
4 次の四角形の名前を書きましょう。(4点×4)



[ **台形** ] [ **ひし形** ] [ **正方形** ] [ **平行四辺形** ]

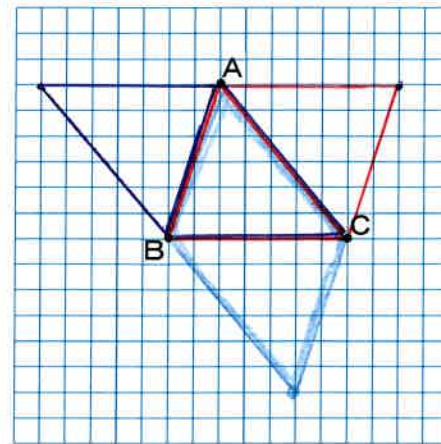
5 右下の**平行四辺形**について、次の問題に答えましょう。(3点×5)

- ① 辺ADの長さは何cmですか。( **5** cm)  
 ② 辺CDの長さは何cmですか。( **6** cm)  
 ③ 角Cの大きさは何度ですか。( **125°** )  
 ④ 角Dの大きさは何度ですか。( **55°** )  
 ⑤ 点Aと点Cを結んだ直線を何といいますか。( **対角線** )

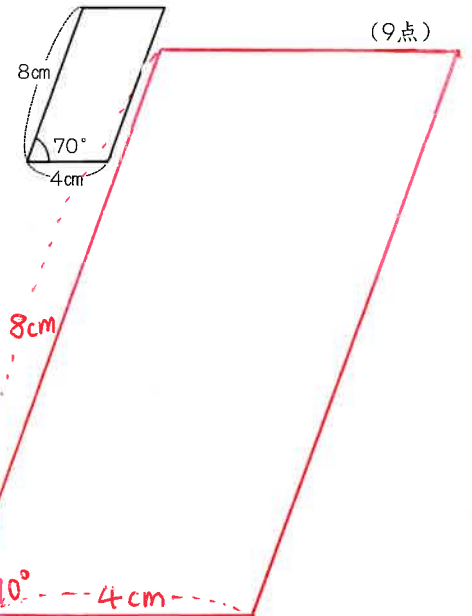


6 3つの点A, B, Cを頂点とする**平行四辺形**を書きます。何種類の平行四辺形がかけますか。(10点)

( **3** 種類 )



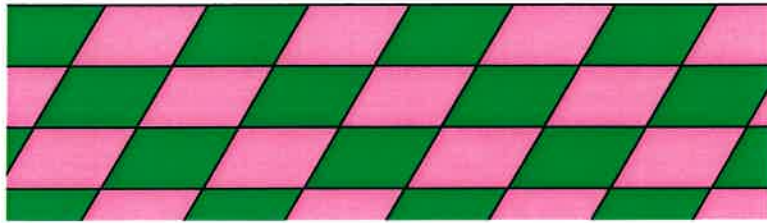
7 下のような平行四辺形をかきましょう。(9点)



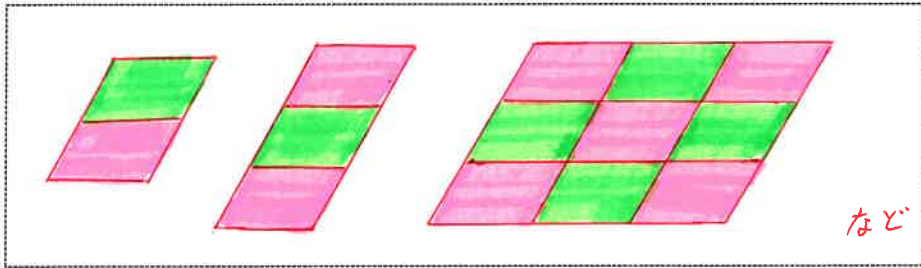
⑩ どんな四角形でも敷き詰められるか確かめよう。

26	基本	垂直・平行と四角形	四角形のしきつめ	学習日	/
----	----	-----------	----------	-----	---

1 形も大きさも同じ平行四辺形をならべて、すきまなくしきつめました。



(1) しきつめもようから、いろいろな平行四辺形を見つけましょう。(20点)



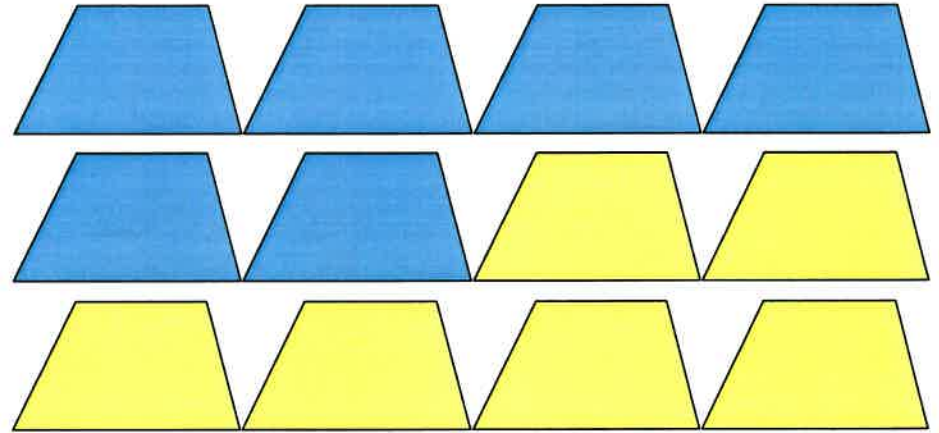
(2) 下の形が、平行四辺形といえるわけを説明しましょう。(10点×3)

㉑ 三角じょうぎを使って調べると、向かい合う辺がどちらも **平行** になっているので平行四辺形です。

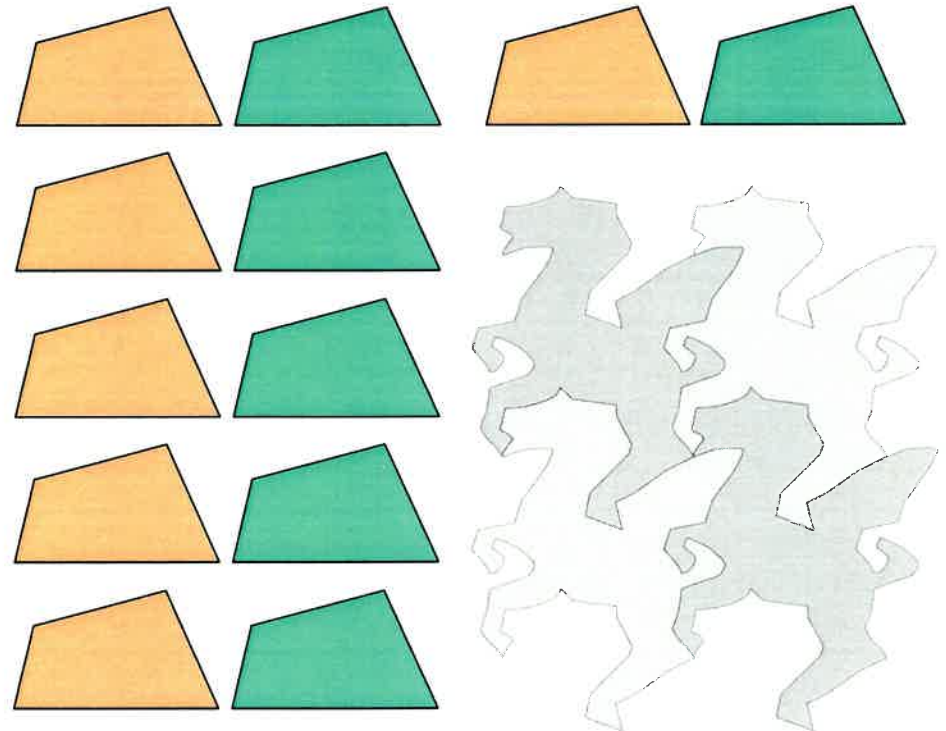
㉒ 向かい合う辺の長さが **等しくなっている**ので平行四辺形です。

㉓ 向かい合う角の大きさが **等しくなっている**ので平行四辺形です。

2 台形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)



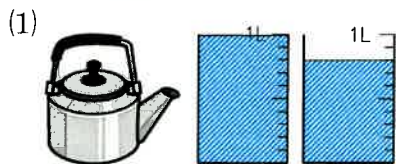
3 下のような四角形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)



◎ 量の端数の表し方による小数の動機づけ (1/100の位)

27	基本	小数	小数の表し方	学習日	/
----	----	----	--------	-----	---

1 やかんとポットに入る水のかさを調べました。それぞれのかさを **L** を単位にして表します。□にあてはまる数をかきましよう。(8点×2)

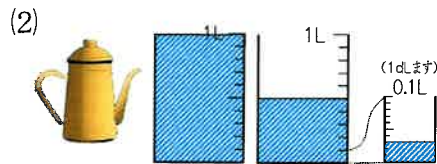


やかんの水のかさ

1 L が1つ分で □ L

0.1 L が8つ分で □ L

あわせて □ L



ポットの水のかさ

1 L が1つ分で □ L

0.1 L が5つ分で □ L

0.01 L が3つ分で □ L

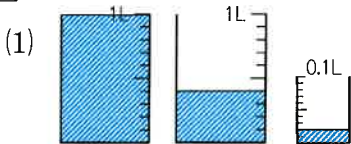
あわせて □ L

(一点五三リットル)

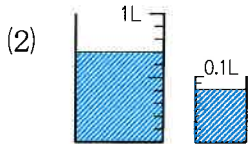
1Lの  $\frac{1}{10}$  は0.1L, 0.1Lの  $\frac{1}{10}$  は0.01L (れい点れいーリットル) です。  
0.01Lは1Lの  $\frac{1}{100}$  です。

1.53 は、「いっ点ごさん」と読みます。「いっ点ごじゅうさん」ではありません。  
(「いち点ごさん」)

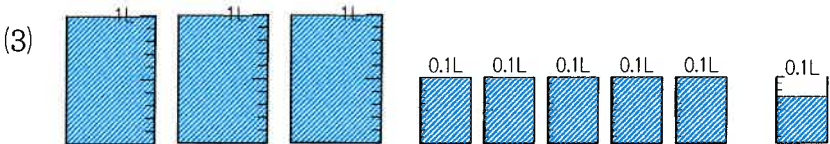
2 次の水のかさは、何Lですか。(8点×3)



[ 1.42 L ]



[ 0.78 L ]



[ 3.57 L ]

◎ 1/1000の位の小数の表し方

3 大鳴門橋は1629mあります。これを、kmを単位にして表すことを考えます。  
□にあてはまる数をかきましよう。(10点)

1 kmの  $\frac{1}{10}$  (100m)は 0.1 km  
0.1 kmの  $\frac{1}{10}$  (10m)は 0.01 km  
0.01 kmの  $\frac{1}{10}$  (1m)は 0.001 km です。  
(れい点れいれいーキロメートル)



★1629mは

1 km が1つ分で □ km

0.1 km が6つ分で □ km

0.01 km が2つ分で □ km

0.001 km が9つ分で □ km

あわせて □ km

(一点六二九)

大鳴門橋(兵庫県)



「いっ点ろっぴやくにじゅうく」ではありません。

4 マラソンでは、42.195kmの道のりを走ります。42.195kmを、mを単位として表すと何mになりますか。(10点)

1 km = 1000 m で、

1 m = 0.001 km です。

[ 42195 m ]



5 □にはあてはまる数をかきましよう。(5点×4)

① 3462m = 3.462 km

② 8606m = 8.606 km

③ 7.685km = 7685 m

④ 35.008km = 35008 m

6 □にはあてはまる数をかきましよう。(5点×4)

① 6373g = 6.373 kg

② 545g = 0.545 kg

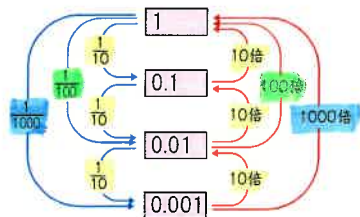
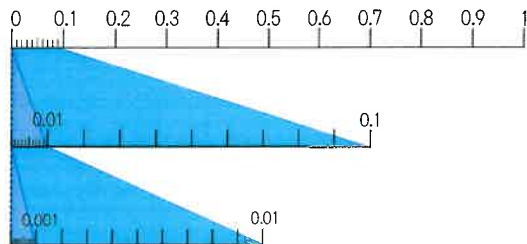
③ 4.702kg = 4702 g

④ 18.299kg = 18299 g

① 1, 0.1, 0.01, 0.001 の相互の関係を調べ、十進数としての仕組みをとらえる。

**28** 基本 小数 小数のしくみ-1 学習日 /

1 1 と 0.1, 0.01, 0.001 の関係を調べます。 (5点×6)



- (1) 0.1, 0.01, 0.001 は 1 の何分の 1 ですか。分数で答えましょう。  
 ① 0.1 [  $\frac{1}{10}$  ]    ② 0.01 [  $\frac{1}{100}$  ]    ③ 0.001 [  $\frac{1}{1000}$  ]
- (2) 1 は、0.1, 0.01, 0.001 の何倍ですか。  
 ① 0.1 の [ 10 ] 倍    ② 0.01 の [ 100 ] 倍    ③ 0.001 の [ 1000 ] 倍

2 42.195 は、10, 1, 0.1, 0.01, 0.001 をそれぞれ何こあわせた数ですか。  
 □ にあてはまる数をかきましょう。 (10点)

★42.195 は

10 を  こ  
 1 を  こ  
 0.1 を  こ  
 0.01 を  こ  
 0.001 を  こ

あわせた数です。

	十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
42.195	4	2	1	9	5

小数点から右の位は、順に  $\frac{1}{10}$  の位、 $\frac{1}{100}$  の位、 $\frac{1}{1000}$  の位、また、それぞれ  
しょうすうだいいちい  
 小数第 1 位、小数第 2 位、小数第 3 位といっています。

② 小数の加法的・相対的な見方、位の間関係を理解する。

3 ( ) にあてはまる数をかきましょう。 (5点×3)

- (1) 10 は、0.1 の ( 100 ) 倍です。  
 (2) 10 は、0.01 の ( 1000 ) 倍です。  
 (3) 10 は、0.001 の ( 10000 ) 倍です。

十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
1	0	0	0	0
	0	1		
	0	0	1	
	0	0	0	1

4 次の問題に答えましょう。 (5点×3)

- (1) 1 は、0.01 の何倍ですか。 [ 100 倍 ]  
 (2) 0.1 を 2 こと 0.01 を 4 こあわせた数はいくつですか。 [ 0.24 ]  
 (3) 0.01 を 8 こと 0.001 を 9 こあわせた数はいくつですか。 [ 0.089 ]

5 □ にあてはまる数をかきましょう。 (5点×6)

- (1) 1.475 は、1 を  こ、0.1 を  こ、0.01 を  こ、0.001 を  こあわせた数です。  
 (2) 5.308 は、1 を  こ、0.1 を  こ、0.001 を  こあわせた数です。  
 (3) 6.274 は、0.001 を  こ集めた数です。  
 (4) 7.006 は、0.001 を  こ集めた数です。  
 (5) 0.001 を 203 こ集めた数は  です。  
 (6) 0.001 を 8207 こ集めた数は  です。

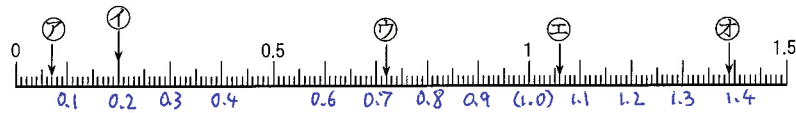
ややこしいと思ったら、位取りの表を見て考えましょう。



◎小数を、10倍したり10でわったりすることについて理解する。

29	基本	小数	小数のしくみ-2	学習日	/
----	----	----	----------	-----	---

1 次の㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕にあたる数は何ですか。(4点×5)



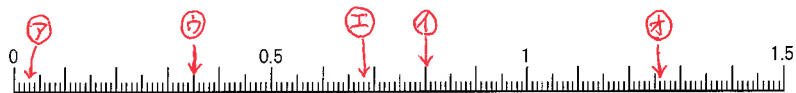
㉑〔 0.07 〕      ㉒〔 0.2 〕      ㉓〔 0.72 〕

㉔〔 1.06 〕      ㉕〔 1.39 〕

1目もりは、0.01です。

2 次の数を下の数直線に表しましょう。(4点×5)

- ㉑ 0.03      ㉒ 0.8      ㉓ 0.35      ㉔ 0.68      ㉕ 1.26



3 下の(れい)をもとにして、3.8, 0.38 をそれぞれ10倍しましょう。(5点×2)

(れい)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
		3	8			
	3	8	0			
	3	8	0	0		

10倍 (from 38 to 380)  
10倍 (from 380 to 3800)

小数も整数と同じように、各位の数字を、10倍すると位が1つ上がります。

(1)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			3	8		
		3	8			

10倍

(2)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			0	3	8	
		3	8			

10倍

4 下の(れい)をもとにして、6.4, 0.64 をそれぞれ10でわりましょう。(5点×2)

(れい)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
6	4	0	0			
	6	4	0			
		6	4			

÷10 (from 6400 to 640)  
÷10 (from 640 to 64)

小数も整数と同じように、各位の数字を、10でわると位が1つ下がります。

(1)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			6	4		
		0	6	4		

÷10

(2)

千の位	百の位	十の位	一の位	1/10の位	1/100の位	1/1000の位
			0	6	4	
		0	0	6	4	

÷10

5 次の数を10倍しましょう。(2点×10)

- ①  $0.9 \times 10 = 9$       ②  $0.05 \times 10 = 0.5$   
 ③  $0.26 \times 10 = 2.6$       ④  $0.84 \times 10 = 8.4$   
 ⑤  $3.7 \times 10 = 37$       ⑥  $2.61 \times 10 = 26.1$   
 ⑦  $1.03 \times 10 = 10.3$       ⑧  $9.09 \times 10 = 90.9$   
 ⑨  $0.752 \times 10 = 7.52$       ⑩  $4.006 \times 10 = 40.06$

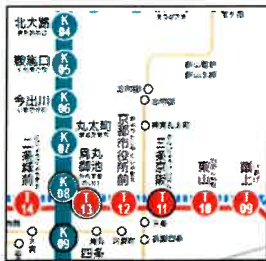
6 次の数を10でわりましょう。(2点×10)

- ①  $8 \div 10 = 0.8$       ②  $0.6 \div 10 = 0.06$   
 ③  $0.04 \div 10 = 0.004$       ④  $0.51 \div 10 = 0.051$   
 ⑤  $5.3 \div 10 = 0.53$       ⑥  $8.97 \div 10 = 0.897$   
 ⑦  $1.02 \div 10 = 0.102$       ⑧  $4.09 \div 10 = 0.409$   
 ⑨  $0.567 \div 10 = 0.0567$       ⑩  $3.002 \div 10 = 0.3002$

② 小数の見方や仕組みをもとにして、小数の加法や減法の計算の仕方を考える。

30	基本	小数	小数のたし算・ひき算	学習日	/
----	----	----	------------	-----	---

1 北大路駅に集合して、地下鉄に乗って蹴上に行きます。北大路から烏丸御池までは3.82kmで、ここで乗りかえます。また、烏丸御池から蹴上までは3.15kmです。全体の道のりは何kmになりますか。(8×4点)



(1) 式を書きましょう。

式  $3.82 + 3.15$

(2) 計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。



① 0.01がいくつかを考えると、3.82は0.01が382こ、3.15は0.01が315こだから、あわせて0.01が697こになります。だから、答えは6.97 kmです。



② 位ごとに分けて考えると、1があわせて6こ、0.1があわせて9こ、0.01があわせて7こになります。だから、答えは6.97 kmです。

③ 筆算ですと、位(小数点)がたてにならぶようにかいて整数の時と同じように計算して、答えは6.97 kmになります。

$$\begin{array}{r} 3.82 \\ + 3.15 \\ \hline 6.97 \end{array}$$

2 大きいそじ機の重さは6.84kgです。小さいそじ機の重さは3.62kgです。重さのちがいは何kgですか。(16点)

(式)  $6.84 - 3.62 = 3.22$  (kg)

$$\begin{array}{r} 6.84 \\ - 3.62 \\ \hline 3.22 \end{array}$$



答え( 3.22 kg )

筆算をかくときに、小数点の位置をそろえることをわすれないでね。

② 小数の加法や減法を、筆算で計算することができる。

3 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

①  $\begin{array}{r} 4.76 \\ + 6.48 \\ \hline 11.24 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 6.00 \\ + 7.59 \\ \hline 13.59 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 5.47 \\ + 8.20 \\ \hline 13.67 \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 2.09 \\ + 5.91 \\ \hline 8.00 \end{array}$

⑤  $\begin{array}{r} 5.38 \\ + 1.27 \\ \hline 6.65 \end{array}$

⑥  $\begin{array}{r} 7.03 \\ + 3.05 \\ \hline 10.08 \end{array}$

⑦  $\begin{array}{r} 6.09 \\ + 0.96 \\ \hline 7.05 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 6.00 \\ + 7.34 \\ \hline 13.34 \end{array}$

⑨  $\begin{array}{r} 8.74 \\ + 3.00 \\ \hline 11.74 \end{array}$

⑩  $\begin{array}{r} 5.60 \\ + 9.72 \\ \hline 15.32 \end{array}$

⑪  $\begin{array}{r} 4.67 \\ + 2.33 \\ \hline 7.00 \end{array}$

⑫  $\begin{array}{r} 9.26 \\ + 0.74 \\ \hline 10.00 \end{array}$

⑬  $\begin{array}{r} 7.52 \\ + 3.28 \\ \hline 10.80 \end{array}$

4 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

①  $\begin{array}{r} 8.94 \\ - 5.68 \\ \hline 3.26 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 8.35 \\ - 5.57 \\ \hline 2.78 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 7.26 \\ - 3.80 \\ \hline 3.46 \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 5.00 \\ - 3.29 \\ \hline 1.71 \end{array}$

⑤  $\begin{array}{r} 9.57 \\ - 3.68 \\ \hline 5.89 \end{array}$

⑥  $\begin{array}{r} 7.46 \\ - 5.47 \\ \hline 1.99 \end{array}$

⑦  $\begin{array}{r} 9.04 \\ - 0.85 \\ \hline 8.19 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 6.31 \\ - 5.46 \\ \hline 0.85 \end{array}$

⑨  $\begin{array}{r} 8.02 \\ - 4.71 \\ \hline 3.31 \end{array}$

⑩  $\begin{array}{r} 7.46 \\ - 3.40 \\ \hline 4.06 \end{array}$

⑪  $\begin{array}{r} 9.63 \\ - 4.30 \\ \hline 5.33 \end{array}$

⑫  $\begin{array}{r} 5.00 \\ - 0.52 \\ \hline 4.48 \end{array}$

⑬  $\begin{array}{r} 7.00 \\ - 2.37 \\ \hline 4.63 \end{array}$



1 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

1 L = 10 dL

① 95dL =  L

1 m = 100 cm

② 346cm =  m

1 km = 1000 m

③ 4178m =  km

1 kg = 1000g

④ 623g =  kg

2 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

1 m = 100 cm

① 2.64m =  cm

1 kg = 1000g

② 1.771kg =  g

1 km = 1000m

③ 0.943km =  m

1 kg = 1000g

④ 3.002kg =  g

3 4.926はどんな数ですか。にあてはまる数をかきましょう。(4点×3)

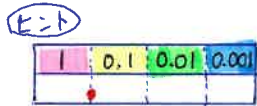
(1) 1をに, 0.1をに, 0.01をに, 0.001をにあわせた数です。

(2) 4とをあわせた数です。

(3) 0.001をに集めた数です。



4 次の数をかきましょう。(4点×4)



(1) 0.1を5こと0.01を9こあわせた数

(2) 0.01を8こと0.001を2こあわせた数

(3) 0.01を718こ集めた数

(4) 0.001を403こ集めた数

5 次の㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕にあたる数は何ですか。(2点×5)



㉑       ㉒       ㉓

㉔       ㉕

6 次の数を10倍しましょう。値が1つ上がり, 小数点が1つ右に移ります。(2点×4)

①  $4.95 \times 10 = 49.5$       ②  $5.09 \times 10 = 50.9$

③  $6.753 \times 10 = 67.53$       ④  $0.048 \times 10 = 0.48$

7 次の数を10でわりましょう。値が1つ下がり, 小数点が1つ左に移ります。(2点×4)

①  $1.3 \div 10 = 0.13$       ②  $0.7 \div 10 = 0.07$

③  $8.94 \div 10 = 0.894$       ④  $0.02 \div 10 = 0.002$

8 次の計算を筆算でしましょう。小数点をそろえて計算しよう。(2点×11)

①  $6.48 + 2.29$

$$\begin{array}{r} 6.48 \\ + 2.29 \\ \hline 8.77 \end{array}$$

②  $5.86 + 3.4$

$$\begin{array}{r} 5.86 \\ + 3.40 \\ \hline 9.26 \end{array}$$

③  $4.69 + 3.21$

$$\begin{array}{r} 4.69 \\ + 3.21 \\ \hline 7.90 \end{array}$$

④  $7 + 5.88$

$$\begin{array}{r} 7.00 \\ + 5.88 \\ \hline 12.88 \end{array}$$

⑤  $4.62 + 5.38$

$$\begin{array}{r} 4.62 \\ + 5.38 \\ \hline 10.00 \end{array}$$

⑥  $9.98 - 6.63$

$$\begin{array}{r} 9.98 \\ - 6.63 \\ \hline 3.35 \end{array}$$

⑦  $8.14 - 4.97$

$$\begin{array}{r} 8.14 \\ - 4.97 \\ \hline 3.17 \end{array}$$

⑧  $7.05 - 6.85$

$$\begin{array}{r} 7.05 \\ - 6.85 \\ \hline 0.20 \end{array}$$

⑨  $5 - 3.2$

$$\begin{array}{r} 5.0 \\ - 3.2 \\ \hline 1.8 \end{array}$$

⑩  $3.1 - 1.59$

$$\begin{array}{r} 3.10 \\ - 1.59 \\ \hline 1.51 \end{array}$$

⑪  $8 - 0.07$

$$\begin{array}{r} 8.00 \\ - 0.07 \\ \hline 7.93 \end{array}$$



㊦ (2位数)÷(2位数), 何十であって, 商が1桁になる計算かできる。

<b>32</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	何十でわるわり算	学習 日	/
-----------	----	--------------	----------	---------	---

1 60円持って買い物に行きました。あとの問題に答えましょう。(8点×2)

(1) 1に6円のあめは何こ買えますか。

(式)  $60 \div 6 = 10$       答え  $10$  こ

(2) 1に20円のあめは何こ買えますか。



10円玉を使って, 計算のしかたを考えましょう。



★10円玉の6こと2こをくらべて, 商を3と見当をつけます。

20を3倍すると60になるので,

(式)  $60 \div 20 = 3$       答え  $3$  こになります。

2 80円で, 1に30円のみかんは何こ買えますか。(10点)



★10円玉の8こと3こをくらべて, 商を2と見当をつけます。

30を2倍すると60で, 20あまりです。

(式)  $80 \div 30 = 2$  あまり  $20$       答え  $2$  こ, あまり  $20$  円 になります。

割る数×商+あまり=わられる数の式で答えをたしかめましょう。



3 つぎのわり算をしましょう。(2点×12)

- ①  $40 \div 20 = 2$       ②  $80 \div 20 = 4$       ③  $50 \div 10 = 5$   
 ④  $60 \div 30 = 2$       ⑤  $80 \div 40 = 2$       ⑥  $90 \div 30 = 3$   
 ⑦  $30 \div 20 = 1 \dots 10$       ⑧  $70 \div 30 = 2 \dots 10$       ⑨  $80 \div 50 = 1 \dots 30$   
 ⑩  $70 \div 20 = 3 \dots 10$       ⑪  $90 \div 40 = 2 \dots 10$       ⑫  $80 \div 30 = 2 \dots 20$

㊦ (3位数)÷(2位数), 何十であって, 商が1桁になる計算かできる。

4 120円で, 1に30円のみかんは何こ買えますか。(10点)



★10円玉の12こと3こをくらべて, 商を4と見当をつけます。

30を4倍すると120になります。

(式)  $120 \div 30 = 4$       答え  $4$  こ

5 150円で, 1本40円のえん筆は何本買えて, 何円あまりますか。(10点)



★10円玉の15こと4こをくらべて, 商を3と見当をつけます。

40を3倍すると120で, 30円あまります。

(式)  $150 \div 40 = 3$  あまり  $30$       答え  $3$  本, あまり  $30$  円

6 160÷30の計算を下のようにしました。まちがいをみつけて, 正しい答えをかきましょう。(6点)

$160 \div 30 = 5$  あまり  $10$

7 つぎのわり算をしましょう。(2点×12)

- ①  $180 \div 30 = 6$       ②  $250 \div 50 = 5$       ③  $480 \div 60 = 8$   
 ④  $140 \div 20 = 7$       ⑤  $560 \div 70 = 8$       ⑥  $400 \div 80 = 5$   
 ⑦  $130 \div 20 = 6 \dots 10$       ⑧  $250 \div 40 = 6 \dots 10$       ⑨  $510 \div 60 = 8 \dots 30$   
 ⑩  $370 \div 80 = 4 \dots 50$       ⑪  $700 \div 90 = 7 \dots 70$       ⑫  $600 \div 70 = 8 \dots 40$

㊦ (2位数) ÷ (2位数) で商が1桁になる筆算 (仮商の修正なし)

<b>33</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	商が1けたになる筆算-1	学習日	/
-----------	----	--------------	--------------	-----	---

1 84 ÷ 21 の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。(10点)

- 84を80, 21を20とみて, 80 ÷ 20から商の見当をつけます。
- 商を4と見当をつけて, 21を4倍すると84になります。
- 84 ÷ 21 = 4になります。

2 80 ÷ 20と 84 ÷ 21の筆算のしかたを考えましょう。(8点 × 2)

(1)

		×	×	4
2	0	8	0	
		8	0	
				0

- 十の位アに商はたちません。... × のところ
- 8 ÷ 2で, 一の位のイに4をたてて
- 20に4をかけてウに80をかきます。
- 80から80をひいてエに0をかきます。

(2)

			4	
2	1	8	4	
		8	4	
				0

- 十の位アに商はたちません。
- 8 ÷ 2で, 一の位のイに4をたてて
- 21に4をかけてウに84をかきます。
- 84から84をひいてエに0をかきます。

3 次の計算を筆算でしましょう。① → ⑧の順にやろう。(3点 × 8)

① 

			2
3	2	6	4
		6	4
			0

 ② 

			3
1	2	3	6
		3	6
			0

 ③ 

			4
2	2	8	8
		8	8
			0

 ④ 

			3
2	3	6	9
		6	9
			0

かけ算がくり上がる →

⑤ 

			3
2	4	7	2
		7	2
			0

 ⑥ 

			2
4	7	9	4
		9	4
			0

 ⑦ 

			3
2	5	7	5
		7	5
			0

 ⑧ 

			4
2	3	9	2
		9	2
			0

㊦ (3位数) ÷ (2位数) で商が1桁になる筆算 (仮商の修正なし)

4 170 ÷ 34と 173 ÷ 33の筆算のしかたを考えましょう。(8点 × 2)

(1)

		×	×	5
3	4	1	7	0
		1	7	0
				0

- 百の位や十の位に商はたちません。... × × のところ
- 170 ÷ 30と考え, 17 ÷ 3で商の見当をつけます。一の位のアに5をたてて
- 34に5をかけてイに170をかきます。
- 170から170をひいてウに0をかきます。

(2)

				5
3	3	1	7	3
		1	6	5
				8

- 百の位や十の位に商はたちません。
- 170 ÷ 30と考え, 17 ÷ 3で商の見当をつけます。一の位のアに5をたてて
- 33に5をかけてイに165をかきます。
- 173から165をひいて, ウにあまりの8をかきます。

5 次の計算を筆算でしましょう。(3点 × 8)

かけ算がくり上がる →

① 

			6	
3	1	1	8	6
		1	8	6
				0

 ② 

			3	
4	3	1	2	9
		1	2	9
				0

 ③ 

			6	
2	3	1	3	8
		1	3	8
				0

 ④ 

			8	
5	4	4	3	2
		4	3	2
				0

あまりがある →

⑤ 

			6	...6
2	2	1	3	8
		1	3	2
				6

 ⑥ 

			3	...6
4	5	1	4	1
		1	3	5
				6

 ⑦ 

			5	...16
3	2	1	7	6
		1	6	0
				16

 ⑧ 

			7	...34
6	3	4	7	5
		4	4	1
				34

6 色紙が290まいあります。32人に同じ数ずつ配ると, 1人何まいになって何まいあまりますか。(10点)

(式)  $290 \div 32 = 9 \text{ あり } 2 \text{ (まい)}$

		9
32	290	
	288	
		2

計算は筆算でしよう。

答え(1人 9 まい, 2 まいあまる)

② (2位数)・(3位数)÷(2位数)で商が1桁になる筆算(仮商の修正あり)

**34** 基本 2けたでわるわり算の筆算 商が1けたになる筆算-2 学習日 /

1  $65 \div 13$ と  $187 \div 36$ と  $169 \div 27$ の筆算のしかたを考えましょう。(10点×3)

(1) ①  $65 \div 13$  の筆算 (商6)  $\rightarrow$  ②  $65 \div 13$  の筆算 (商5)

①  $13 \overline{)65}$   
 $\underline{78}$   
 大きすぎる

②  $13 \overline{)65}$   
 $\underline{65}$   
 $0$

- ①  $6 \div 1$ で、一の位に **6** をたてて  $13$ に6をかけると **78** になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい **5** にして  $13$ に5をかけると **65** になります。
- ③ 65から65をひいて **あまりは0** になります。

見当をつけた商が大きすぎたときは、1小さい商をたてて計算してみましょう。



(2) ①  $187 \div 36$  の筆算 (商6)  $\rightarrow$  ②③  $187 \div 36$  の筆算 (商5)

①  $36 \overline{)187}$   
 $\underline{216}$   
 大きすぎる

②③  $36 \overline{)187}$   
 $\underline{180}$   
 $7$

- ①  $18 \div 3$ で、一の位に **6** をたてて  $36$ に6をかけると **216** になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい **5** にして  $36$ に5をかけると **180** になります。
- ③ 187から180をひいて **あまりは7** になります。

(3) ①  $169 \div 26$  の筆算 (商8)  $\rightarrow$  ②  $169 \div 26$  の筆算 (商7)  $\rightarrow$  ③  $169 \div 26$  の筆算 (商6)

①  $26 \overline{)169}$   
 $\underline{208}$   
 大きすぎる

②  $26 \overline{)169}$   
 $\underline{182}$   
 大きすぎる

③  $26 \overline{)169}$   
 $\underline{156}$   
 $13$

見当をつけた商が大きすぎたときは、1ずつ小さくしていけばいいよ。



- ①  $16 \div 2$ で、一の位に **8** をたてて  $26$ に8をかけると **208** になり、大きすぎ。
- ② 一の位に **7** をたてて  $26$ に7をかけると **182** になり、まだ大きすぎ。
- ③ 一の位に **6** をたてて  $26$ に6をかけると **156** になり、**あまりは13** になります。

2  $522 \div 58$ の筆算のしかたを考えましょう。(10点)

$58 \overline{)522}$   
 $\underline{522}$   
 $0$

- ① 商は一の位にたつから、**1** けたです。
- ② 商の見当をつけると、 $52 \div 5$ で10になります。このようなときは、まず、**9** をたてましょう。
- ③  $58$ に9をかけると **522** になり、**あまりは0** になります。

商の見当をつけると10になるときは、まず、9をたててみましょう。



3 次の計算を筆算でしましょう。(5点×12)

Ⅰ(1)のパターン→

①  $1442 \div 42$  の筆算 (商34)

②  $1380 \div 78$  の筆算 (商17)

③  $1698 \div 96$  の筆算 (商17)

Ⅰ(2)のパターン→

④  $25125 \div 125$  の筆算 (商201)

⑤  $37222 \div 222$  の筆算 (商168)

⑥  $54309 \div 270$  の筆算 (商201)

Ⅰ(3)のパターン→

⑦  $27162 \div 162$  の筆算 (商168)

⑧  $39283 \div 273$  の筆算 (商144)

⑨  $28180 \div 168$  の筆算 (商168)

Ⅱのパターン→

⑩  $46414 \div 414$  の筆算 (商112)

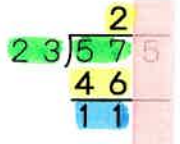
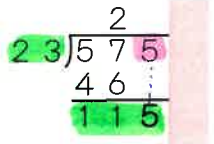
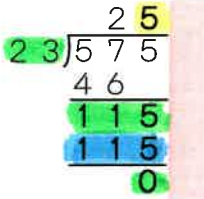
⑪  $26208 \div 208$  の筆算 (商126)

⑫  $69634 \div 621$  の筆算 (商112)

◎ (3位数) ÷ (2位数) で 商が2桁になる筆算。

<b>35</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	商が2けた3けたになる筆算	学習日	/
-----------	----	--------------	---------------	-----	---

1 575 ÷ 23 の筆算のしかたを考えましょう。 (14点)

①  → ②  → ③ 

- ① 57 ÷ 23 で、十の位に **2** をたてて 23 に 2 をかけて **46**。  
 57 から 46 をひいて **11**。  
 ② 一の位の **5** をおろして **115**。  
 ③ 115 ÷ 23 で、一の位に **5** をたてて 23 に 5 をかけて **115**。  
 115 から 115 をひいてあまりは **0**。



2 次の計算を筆算でしましょう。 ① → ⑥ の順にやろう。 (6点 × 6)

① 

27	621
54	
81	
81	
0	

 ② 

16	688
64	
48	
48	
0	

 ③ 

32	960
96	
0	

④ 

35	867
70	
167	
140	
27	

 ⑤ 

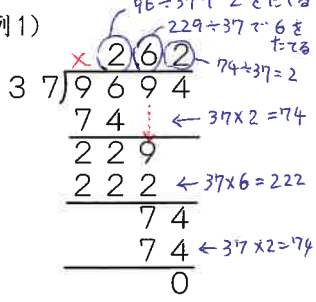
18	693
54	
153	
144	
9	

 ⑥ 

24	739
72	
19	

◎ (4位数) ÷ (2位数), (4位数) ÷ (3位数) の筆算。

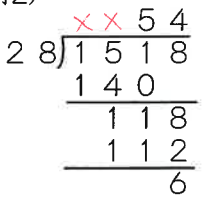
3 (例) にならって、次の計算を筆算でしましょう。 (6点 × 6)

(例1)  ① 

14	2982
28	
18	
14	
42	
42	
0	

 ② 

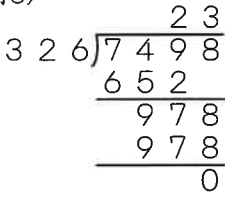
26	7135
52	
193	
182	
115	
104	
11	

(例2)  ③ 

32	2016
192	
96	
96	
0	

 ④ 

53	4458
424	
218	
212	
6	

(例3)  ⑤ 

154	2156
154	
616	
616	
0	

 ⑥ 

239	6469
478	
1689	
1673	
16	

4 952まいの色紙を、クラスの34人で同じ数ずつ分けたいと思います。1人に何まいずつ分ければよいですか。 (14点)

(式)  $952 \div 34 = 28$  (まい)

答え [ 28 まい ]

34	952
68	
272	
272	
0	

◎ 2桁でわるわり算の筆算(練習問題)

<b>36</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	練習	学習日	/
-----------	----	--------------	----	-----	---

1 しおりさんは、 $789 \div 34$ の計算のまちがいを説明しています。(10点)

$$\begin{array}{r} \cancel{2} \quad 3 \\ 3 \ 4 \overline{) 7 \ 8 \ 9} \\ \underline{6 \ 8} \phantom{0} \\ 1 \ 0 \ 9 \\ \underline{1 \ 0 \ 2} \\ 7 \end{array}$$

2は百の位ではなくて、十の位にたちます。



★ しおりさんに習って、 $955 \div 28$ の計算のまちがいを説明してみましょう。

$$\begin{array}{r} \cancel{3} \quad 4 \\ 2 \ 8 \overline{) 9 \ 5 \ 5} \\ \underline{8 \ 4} \phantom{0} \\ 1 \ 1 \ 5 \\ \underline{1 \ 1 \ 2} \\ 3 \end{array}$$

3は百の位ではなくて、十の位にたちます。

2 商とあまりを求めて、答えのたしかめしましょう。(3点×6)

①  $80 \div 50 = 1 \dots 30$       ②  $300 \div 40 = 7 \dots 20$       ③  $470 \div 60 = 7 \dots 50$   
 $50 \times 1 + 30 = 80$        $40 \times 7 + 20 = 300$        $60 \times 7 + 50 = 470$

④  $24 \overline{) 61} \dots 13$       ⑤  $17 \overline{) 99} \dots 14$       ⑥  $36 \overline{) 320} \dots 32$   
 $24 \times 2 + 13 = 61$        $17 \times 5 + 14 = 99$        $36 \times 8 + 32 = 320$

3 次の計算を筆算でしましょう。(5点×4)

① 

			2
2	8	5	6
		5	6
			0

      ② 

			5	10
1	4	8	0	
		7	0	
			1	0

      ③ 

				9
4	4	3	9	6
		3	9	6
				0

      ④ 

				7	33
5	7	4	3	2	
		3	9	9	
				3	3

4 次の計算を筆算でしましょう。(5点×6)

① 

			2	3
3	6	8	2	8
		7	2	
		1	0	8
		1	0	8
				0

      ② 

			2	6	21
2	9	7	7	5	
		5	8		
		1	9	5	
		1	7	4	
				2	1

      ③ 

			4	0
1	8	7	2	0
		7	2	
				0

④ 

			1	3	6
4	5	6	1	2	0
		4	5		
		1	6	2	
		1	3	5	
			2	7	0
			2	7	0
					0

      ⑤ 

				8	7
3	9	3	3	9	9
		3	1	2	
			2	7	9
			2	7	3
					6

      ⑥ 

				2	7	123
2	3	8	6	5	4	9
			4	7	6	
			1	7	8	9
			1	6	6	6
				1	2	3

5 クラスの29人に同じ数ずつ配るために、鉛筆を232本あずかりました。1人に何本ずつ配ればよいですか。(10点)

(式)

$232 \text{ (本)} \div 29 = 8 \text{ (本)}$

$$\begin{array}{r} 8 \\ 29 \overline{) 232} \\ \underline{232} \\ 0 \end{array}$$

答え( 8本 )

6 りんごが247これました。35こずつ箱に入れていくと、何箱できて、何こあまりますか。(12点)

(式)

$247 \text{ (こ)} \div 35 \text{ (こ)} = 7 \text{ 箱} \text{ 2こあまる}$

$$\begin{array}{r} 7 \dots 2 \\ 35 \overline{) 247} \\ \underline{245} \\ 2 \end{array}$$



答え( 7箱できて2こあまる )

② わられる数、わる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商は同じである。

<b>37</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	わり算のせいしつ	学習日	/
-----------	----	--------------	----------	-----	---

1  $6 \div 2$ ,  $60 \div 20$ ,  $600 \div 200$  の計算について考えます。□にあてはまる数やことばを書きましょう。(5点×6)

㊶  $\overset{\text{わられる数}}{6} \div \overset{\text{わる数}}{2} = \boxed{3}$  

㊷  $\overset{\text{わられる数}}{60} \div \overset{\text{わる数}}{20} = \boxed{3}$  

㊸  $\overset{\text{わられる数}}{600} \div \overset{\text{わる数}}{200} = \boxed{3}$  

(1) ㊶, ㊷, ㊸ の計算の答えは、どれも  $\boxed{3}$  です。

(2) わられる数とわる数をくらべると、どちらも㊷は㊶の  $\boxed{10}$  倍になっています。

また、㊸は㊶の  $\boxed{100}$  倍になっています。

(3) わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商は

$\boxed{\text{同じ}}$  になります。

(4)  $6 \div 2$  の答えと、 $(6 \times 5) \div (2 \times \boxed{5})$  の答えは同じです。

(5)  $60 \div 20$  の答えと、 $(60 \div \boxed{2}) \div (20 \div 2)$  の答えは同じです。

(6)  $600 \div 200$  の計算は、 $6 \div \boxed{2}$  の計算をすればわかります。

2 わり算のせいしつを使って、次の計算をしましょう。(3点×6)

①  $600 \div 200 = 3$       ②  $2400 \div 400 = 6$       ③  $18万 \div 6万 = 3$

④  $240万 \div 30万 = 8$       ⑤  $\overset{\text{4倍する}}{600} \div 25 = 24$       ⑥  $\overset{\text{4倍する}}{300} \div 25 = 12$   
 $2400 \div 100$        $1200 \div 100$

③ わり算の性質を活用して、工夫して計算する。

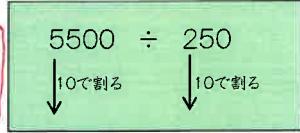
3  $4800 \div 120$  と答えが同じになるわり算を、㊶～㊸の中からすべて選び、記号で答えましょう。(10点)

㊶  $480 \div 120$  ( $480 \div 12$ )      ㊷  $2400 \div 60$  (2でわったもの)  
 ㊸  $480 \div 12$  (10でわったもの)      ㊹  $80 \div 2$  (10でわって、6でわったもの) [㊶, ㊷, ㊹]

4  $5500 \div 250$  の計算をします。□にあてはまる数をかきましょう。(10点×3)

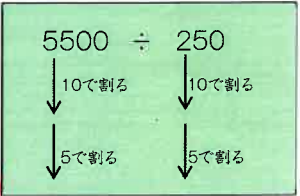
(1) 5500と250のどちらにも0があるので、それぞれを10でわります。  
 $5500 \div 250 = \boxed{550} \div \boxed{25}$   
 $= \boxed{22}$  になります。

←これは筆算しなければなりません。



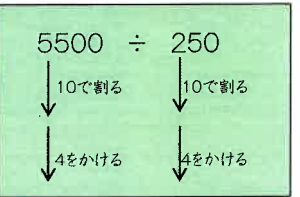
(2) わる数を1けたにします。まず、それぞれを10でわって、さらに5でわります。  
 $5500 \div 250 = \boxed{550} \div \boxed{25}$   
 $= \boxed{110} \div \boxed{5}$   
 $= \boxed{22}$  になります

←この計算は暗算でしましょう。



(3)  $25 \times 4 = 100$  を使って考えます。まず、それぞれを10でわって、4をかけます。  
 $5500 \div 250 = \boxed{550} \div \boxed{25}$   
 $= \boxed{2200} \div \boxed{100}$   
 $= \boxed{22}$  になります

← $550 \times 4$  の計算は、できる人は暗算でやりましょう。



5  $7000 \div 250$  をくふうして計算しましょう。また、どのように考えたのかをかきましょう。(12点)

(例) 10でわって、 $700 \div 25$  にして、  
 4をかけて、 $2800 \div 100 = 28$   
 (別) (4をかけると、 $28000 \div 1000 = 28$  でもいいです。)

① 学習内容の理解を確認する。

<b>38</b>	基本	2けたでわるわり算の筆算	まとめ	学習 日	/
-----------	----	--------------	-----	---------	---

1 つぎのわり算をしましょう。(あまりの位に気をつけて!) (2点×12)

- ①  $30 \div 10 = 3$       ②  $90 \div 30 = 3$       ③  $80 \div 20 = 4$   
 ④  $40 \div 30 = 1 \dots 10$       ⑤  $90 \div 20 = 4 \dots 10$       ⑥  $70 \div 40 = 1 \dots 30$   
 ⑦  $150 \div 50 = 3$       ⑧  $490 \div 70 = 7$       ⑨  $300 \div 60 = 5$   
 ⑩  $210 \div 40 = 5 \dots 10$       ⑪  $520 \div 60 = 8 \dots 40$       ⑫  $700 \div 80 = 8 \dots 60$

2 2けたの数でわるわり算のしかたをまとめます。□にあてはまる数やことばをかきましょう。(2点×3)

$$\begin{array}{r} 23 \\ 37 \overline{) 851} \\ \underline{74} \phantom{0} \\ 111 \\ \underline{111} \\ 0 \end{array}$$

- ① 商は□の位からたちます。  
 ② 十の位には、□ $\div$ □で2をたてます。  
 ③ 一の位には、□ $\div$ □で3をたてます。

3 次の計算をしましょう。(1の位まで計算し、あまりのあるものはあまりを出す。) (4点×7)

①  $23 \overline{) 69}$       ②  $36 \overline{) 72}$       ③  $25 \overline{) 90} \dots 15$       ④  $17 \overline{) 73} \dots 5$

⑤  $43 \overline{) 301}$       ⑥  $48 \overline{) 452} \dots 20$       ⑦  $26 \overline{) 874} \dots 16$

4 次の計算をしましょう。(1の位まで計算する) (5点×3)

①  $24 \overline{) 9024}$       ②  $37 \overline{) 2528} \dots 12$       ③  $256 \overline{) 7035} \dots 123$

5 次の㉑～㉗で、上の式と下の式の商が同じものには○を、ちがうものには×をつけましょう。(3点×6)

- ㉑  $60 \div 20$       ㉒  $280 \div 70$       ㉓  $480 \div 80$   
 $600 \div 200$        $2800 \div 700$        $240 \div 40$  (2でわったもの)  
 [ X ]      [ X ]      [ O ]  
 ㉔  $60 \div 20$  (10倍した)      ㉕  $280 \div 70$       ㉖  $480 \div 80$   
 $600 \div 200$        $28 \div 7$  (10でわった)       $120 \div 40$   
 [ O ]      [ O ]      [ X ]

6 画用紙が583まいあります。この画用紙を48人の生徒に同じ数ずつ配ります。1人分は何まいで、何まいあまりますか。(9点)

(式)  $583 \div 48 = 12 \text{ あまり } 7$

$$\begin{array}{r} 12 \dots 7 \\ 48 \overline{) 583} \\ \underline{48} \phantom{0} \\ 103 \\ \underline{96} \\ 7 \end{array}$$

答え [ 1人分…12まい, 7まいあまる ]



◎ 2つの数量の割合を比較することができる。(割合の第1用法)

39	基本	割合	くらべよう・割合	学習 日	/
----	----	----	----------	---------	---

1 サッカー大会で、入れた得点をくらべます。

村川選手 去年の得点[1点] → 今年の得点[4点]  
 青木選手 去年の得点[3点] → 今年の得点[6点]



(1) □にあてはまる数を書きましょう。(5点×2)

村川選手の今年の得点は、去年よりも3点多くなりました。  $4-1=3$ (点)  
 また、青木選手の今年の得点は、去年よりも3点多くなりました。  $6-3=3$ (点)

(2) 村川選手と青木選手では、どちらのほうが得点のびたといえますか。また、その理由も書きましょう。(自由)(10点)

○どちらも3点多くなっているのと同じです。  
 ○もとの得点が低い村川選手のほうがのびたといえます。 など

どちらも、去年とくらべると今年の得点は3点多くなっています。  
 このとき、去年の得点をもとの得点といえます。(もとにする量)  
 また、2つのものの量や大きさの関係をくらべる時、ある量をもとにして、その何倍になっているかでくらべることがあります。



(3) 村川選手と青木選手について、それぞれ、もとの得点の何倍が今年の得点になっているかでくらべてみましょう。(10点×2)

(村川選手)

$$4 \div 1 = 4 \text{ (倍)}$$

(式)

答え[ 4 倍]

(青木選手)

$$6 \div 3 = 2 \text{ (倍)}$$

(式)

答え[ 2 倍]

	もとの得点	今年の得点
村川選手	1点	4点
青木選手	3点	6点

何倍かでくらべると、青木選手よりも、村川選手のほうが、得点のびたといえるね。



◎ 何倍かの関係にある2量のうちの一方がわからない場面でもその量を求めることができる。

もとの得点の何倍が今年の得点になっているかでくらべると、村川選手は4倍、青木選手は2倍になっています。  
 このように何倍にあたるかを表した数を割合といいます。



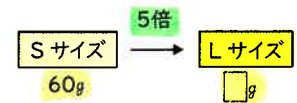
「3点の2倍が6点」というのは、「3点を1としたとき、6点が2にあたる大きさ」といいかえることができます。

2 SサイズとMサイズとLサイズのフライドポテトがあります。(10点×2)

(1) Sサイズの重さ60gの5倍がLサイズの重さです。Lサイズの重さは何gですか。

$$(式) 60(g) \times 5 = 300(g)$$

答え( 300g )

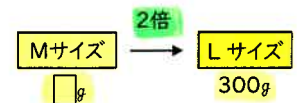


(2) Mサイズの重さの2倍がLサイズの重さ300gです。Mサイズの重さは何gですか。

$$(式) \square \times 2 = 300 \text{ より}$$

$$300(g) \div 2 = 150(g)$$

答え( 150g )



3 子ども会に、男の子が18人集まりました。また、女の子は男の子の2倍集まりました。女の子は何人集まりましたか。(20点)

$$(式) \overset{\text{男の子}}{18} \times 2 = \square \text{ より}$$

$$18 \text{ (人)} \times 2 = 36 \text{ (人)}$$

答え( 36人 )

4 赤いリボンの長さは金色のリボンの長さの7倍で、21mあります。金色のリボンの長さは何mですか。(20点)

$$(式) \overset{\text{金色}}{\square} \times 7 = 21 \text{ より}$$

$$21 \text{ (m)} \div 7 = 3 \text{ (m)}$$

答え( 3m )

◎ □ × a × b = C の場合で、□ を求めるのに 順に考えたり、まとめて考えたりして解く。

40	基本	何倍でしょう	何倍になるかを考えて	学習日	/
----	----	--------	------------	-----	---

1 高層マンションの高さは90mで、鉄道の高さは2倍です。また、鉄道の高さは、学校の高さは3倍です。学校の高さは何mですか。 (10点×2)

(1) まず、鉄道の高さをもとめてときましよう。

(式)  $90(m) \div 2 = 45(m) \dots\dots$  鉄道

$45(m) \div 3 = 15(m)$

答え [ 15 m ]

(2) 高層マンションの高さが、学校の高さを何倍になるかを考えてときましよう。

(式)  $3 \times 2 = 6$  (倍)

$90(m) \div 6 = 15(m)$

答え [ 15 m ]

2 ひろし君のお父さんの体重は84kgで、ひろし君の体重の2倍あります。また、ひろし君の体重は、妹の体重の3倍あります。妹の体重は何kgですか。お父さんの体重が妹の体重の何倍になるかを考えてときましよう。 (15点)

(式)  $3 \times 2 = 6$  (倍)

$84(kg) \div 6 = 14(kg)$

答え [ 14 kg ]

3 筆箱とノートとペンを買いました。筆箱は560円でノートのねだんの4倍です。ノートのねだんは、ペンのねだんの2倍です。ペンのねだんは何円ですか。図をかんせいさせてからときましよう。 (15点)

(式)  $2 \times 4 = 8$  (倍)

$560(円) \div 8 = 70(円)$

答え [ 70 円 ]

4 かん入りのアメの数は128で、これはふくろ入りの2倍です。また、ふくろ入りのアメの数は、箱入りの4倍です。箱入りのアメの数は何個ですか。 (10点×2)

(1) まず、ふくろ入りのアメの数をもとめてときましよう。

(式)  $128(\text{こ}) \div 2 = 64(\text{こ}) \dots\dots$  箱入り

$64(\text{こ}) \div 4 = 16(\text{こ})$

答え [ 16 こ ]

(2) かん入りのアメの数が、箱入りのアメの数を何倍になるかを考えてときましよう。

(式)  $4 \times 2 = 8$  (倍)

$128(\text{こ}) \div 8 = 16(\text{こ})$

答え [ 16 こ ]

5 教科書・絵本・国語辞典があります。国語辞典の重さは1400gで、これは絵本の5倍の重さです。また、絵本の重さは教科書の2倍です。 (10点×2)

(1) 国語辞典は教科書の何倍の重さですか。

(式)  $2 \times 5 = 10$  (倍)

答え [ 10 倍 ]

(2) 教科書の重さは何gですか。

(式)  $1400(g) \div 10 = 140(g)$

答え [ 140 g ]

6 赤いテープの長さは360cmで、白いテープの長さの3倍です。白いテープの長さは、青いテープの長さの3倍です。青いテープの長さは何cmですか。 (10点)

(式)  $3 \times 3 = 9$  (倍)

$360(\text{cm}) \div 9 = 40(\text{cm})$

答え [ 40 cm ]

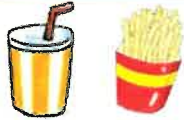
◎ ( ) を使って1つの式に表したり, その計算の順序を考えたりすることができる。

41	基本	式と計算の順じよ	式とその計算の順じよ	学習日	／
----	----	----------	------------	-----	---

1 次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1) 140円のジュースを買って、500円出したとき。  $500 - 140$

(2) 230円のポテトを買って、500円出したとき。  $500 - 230$



これらの計算は、次のことばの式にかくことができます。

出したお金 - 代金 = おつり

2 140円のジュースと230円のポテトを買って、500円出しました。ことばの式をもとにして、次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1)  $500 - 140 - 230 = 130$   
 出したお金    ジュースの代金    ポテトの代金    おつり

(2)  $500 - (140 + 230) = 130$   
 出したお金                      代金                      おつり

( ) を使った式では、( ) の中を先に計算します。



3 1箱に、ケーキをたてに2こ、横に4こならべて入れます。ケーキ40こでは、箱は幾こいらいますか。箱の数を求める計算を、ことばの式をもとにして、( ) を使って1つの式にかいて答えましょう。(10点)

ケーキの数 ÷ 1箱のケーキの数 = 箱の数

(式)  $40 \div (2 \times 4) = 5$                       (5箱)  
 答え [ 5こ ]  
 1箱に8こはいる

4 1さつ130円のノートを3さつと、1本70円の鉛筆を4本買ったときの代金はいくらになりますか。1つの式にかいて答えを求めましょう。(10点)

(式)  $130 \times 3 + 70 \times 4 = 670$   
 390                      280  
 答え [ 670円 ]

いろいろな計算のまじっている式では、計算の順じよは次のとおりです。

- ふつう、左から順に計算します。
- ( ) があるときは、( ) の中を先に計算します。
- +, - と、×, ÷ とでは、×, ÷ を先に計算します。

◎ 四則混合の式から、計算の順序をとらえ、正しく計算することができる。

5 新かん線の座席の横の列は、通路をはさんで、2人がけと3人がけに分かれています。75人がすわるには、何列いらいますか。( ) を使って1つの式にかいて求めましょう。(10点)

(式)  $75 \div (2 + 3) = 15$  (列)



答え [ 15列 ]

6 次の問題を、( ) を使わない1つの式にかいて、答えを求めましょう。(10点×3)

(1) 1さつ80円のメモ帳を4さつ買って、500円出したときのおつり。

(式)  $500 - 80 \times 4 = 180$  (円)  
 (円)                      (円)                      320円  
 答え [ 180円 ]

(2) 400円の筆箱と、1ダースが600円のえん筆を半ダース買ったときの代金。  
 12本                      6本 → 半ダースは1ダースの半分

(式)  $400 + 600 \div 2 = 700$  (円)  
 (円)                      (円)                      300円  
 答え [ 700円 ]

(3) 1こ120円のパンを4こと、1パック210円の牛乳を2パック買ったときの代金。

(式)  $120 \times 4 + 210 \times 2 = 900$  (円)  
 (円)                      (円)                      480円                      420円  
 答え [ 900円 ]

7 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。(2点×10)

①  $18 \div 2 \times 3 = 27$   
 9

②  $18 \div (2 \times 3) = 3$   
 6

③  $18 + 2 \times 3 = 24$   
 6

④  $(18 + 2) \times 3 = 60$   
 20

⑤  $18 - 6 \div 3 = 16$   
 2

⑥  $(18 - 6) \div 3 = 4$   
 12

⑦  $5 \times 8 - 6 \div 2 = 37$   
 40                      3

⑧  $5 \times (8 - 6) \div 2 = 5$   
 2

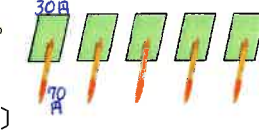
⑨  $(5 \times 8 - 6) \div 2 = 17$   
 34

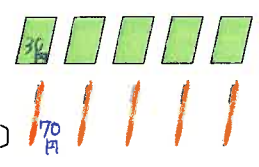
⑩  $5 \times (8 - 6 \div 2) = 25$   
 5

⑩ 分配法則を中心とした整数の計算のきまりのまとめ。

42	基本	式と計算の順じよ	計算のきまり・くふう	学習日	/
----	----	----------	------------	-----	---

1 <sup>はん</sup> 班の買い物をしました。はるなさんは1本70円のペンを5本(5人分)、あきら君は1まい30円の画用紙を5まい(5人分)買いました。 (10点×4)

(1) 1人分の代金をもとにして、代金を1つの式で求めましょう。  
 (式)  $(70 + 30) \times 5 = 500$  (円)  答え〔 500円 〕

(2) ペンと画用紙の代金をべつべつにして、代金を1つの式で求めましょう。  
 (式)  $70 \times 5 + 30 \times 5 = 500$  (円)  答え〔 500円 〕

(3) 2人がはらった金がかくの差を、1人分の差をもとにして、1つの式で求めましょう。  
 (式)  $(70 - 30) \times 5 = 200$  (円) 答え〔 200円 〕

(4) ペンと画用紙の代金をべつべつにして、2人がはらった金がかくの差を、1つの式で求めましょう。  
 (式)  $70 \times 5 - 30 \times 5 = 200$  (円) 答え〔 200円 〕

2 ( ) を使った式には、次のようなきまりがあります。 (4点×2)

(1) $(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$
(2) $(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$

《問題》  $\blacksquare$  に6、 $\bullet$  に4、 $\blacktriangle$  に3をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

(1)  $(6 + 4) \times 3 = 30$        $6 \times 3 + 4 \times 3 = 30$   
 (2)  $(6 - 4) \times 3 = 6$        $6 \times 3 - 4 \times 3 = 6$

3 たし算やかけ算には、次のようなきまりがあります。 (4点×4)

たし算 ㉞ $\blacksquare + \bullet = \bullet + \blacksquare$	㉟ $(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$
かけ算 ㊲ $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$	㊳ $(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$

2 にならって、 $\blacksquare$  に4、 $\bullet$  に3、 $\blacktriangle$  に2をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

⑪ 交換法則、結合法則、分配法則を使った計算の工夫。

㉚  $4 + 3 = 7$        $3 + 4 = 7$   
 ㉛  $(4 + 3) + 2 = 9$        $4 + (3 + 2) = 9$   
 ㉜  $4 \times 3 = 12$        $3 \times 4 = 12$   
 ㉝  $(4 \times 3) \times 2 = 24$        $4 \times (3 \times 2) = 24$

4 計算のきまりを使って、くふうして計算します。□ にあてはまる数をかきましよう。 (5点×4)

(1)  $94 + 6 = 100$  であることを使いましよう。      (2)  $25 \times 4 = 100$  であることを使いましよう。  
 $58 + 94 + 6 = 58 + (\square + \square)$        $25 \times 28 = 25 \times (\square \times 7)$   
 $= 58 + \square$        $= (\square \times \square) \times 7$   
 $= \square$        $= \square \times 7$   
 $= \square$        $= \square$

(3)  $101 = 100 + 1$  であることを使いましよう。      (4)  $99 = 100 - 1$  であることを使いましよう。  
 $101 \times 47 = (100 + 1) \times 47$        $99 \times 54 = (100 - 1) \times 54$   
 $= \square \times 47 + \square \times 47$        $= \square \times 54 - \square \times 54$   
 $= \square + \square$        $= \square - \square$   
 $= \square$        $= \square$

5 くふうして、次の計算をしましよう。 (2点×8)

①  $89 + 93 + 7 = 189$       ②  $34 + 78 + 66 = 178$   
 $89 + 100$        $100 + 78$   
 ③  $25 \times 24 = 600$       ④  $36 \times 25 = 900$   
 $\frac{25 \times 4 \times 6}{100}$        $\frac{25 \times 4 \times 9}{100}$   
 ⑤  $50 \times 48 = 2400$       ⑥  $98 \times 5 = 490$   
 $\frac{50 \times 2 \times 24}{100}$        $\frac{100 \times 5 - 2 \times 5}{500 \quad 10}$   
 ⑦  $102 \times 45 = 4590$       ⑧  $999 \times 9 = 8991$   
 $\frac{100 \times 45 + 2 \times 45}{4500 \quad 90}$        $\frac{1000 \times 9 - 1 \times 9}{9000 \quad 9}$

② いろいろな式の表す意味を  $\square$  と結びつけて考える。

43	基本	式と計算の順じよ	計算の間の関係・式のよみ方	学習 目	/
----	----	----------	---------------	---------	---

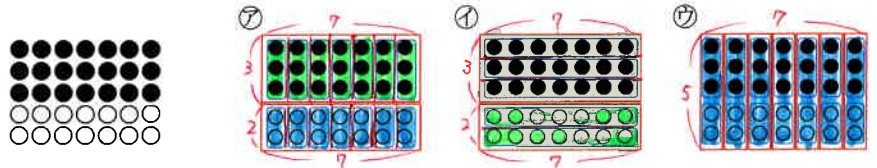
1 1箱に同じ数ずつ入ったアメを6箱買うと、全部で48このアメが買えました。  
アメは1箱に何こ入っていましたか。1箱のアメの数を□ことして式にかき、□の  
求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [  $\square \times 6 = 48$  ]  
(□の求め方)  
 $48 \div 6 = 8 (=)$  答え[ 8こ ]

2 1ふくろのアメを、同じ数ずつ6人に分けたら、1人分が7こになりました。アメは  
1ふくろに何こ入っていましたか。1ふくろのアメの数を□ことして式にかき、□の  
求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [  $\square \div 6 = 7$  ]  
(□の求め方)  
 $7 \times 6 = 42 (=)$  答え[ 42こ ]

3 左の図の黒石と白石を合わせた数を、いろいろな考え方で求めました。  
次の(1)~(3)の式は、①・②・③のどの図で考えたものですか。また、そう考えた  
わけも説明しましょう。(10点×3)



(1)  $3 \times 7 + 2 \times 7$  ..... [ ① ]  
 $3 \times 7 + 2 \times 7$ は、3の7に分と、2の7に分を合わせているので、[ ① ]の図で  
考えたものです。

(2)  $(3+2) \times 7$  ..... [ ② ]  
 $(3+2) \times 7$ は、3こと2こを合わせたものが7つ分なので、[ ② ]の  
図で考えたものです。

(3)  $7 \times 3 + 7 \times 2$  ..... [ ③ ]  
 $7 \times 3 + 7 \times 2$ は、7の3に分と、7の2に分を合わせているので、  
[ ③ ]の図で考えたものです。

4 次の問題を□を使った式に表して、□にあてはまる数をもとめましょう。(8点×4)

(1) 子どもが□人遊んでいます。そこへ6人きたので15人になりました。

(式) [  $\square + 6 = 15$  ]  
(□の求め方)  $15 - 6 = 9 (=)$  答え[ 9人 ]

(2) 子どもが□人遊んでいます。そのうち5人帰ったので14人になりました。

(式) [  $\square - 5 = 14$  ]  
(□の求め方)  $14 + 5 = 19 (=)$  答え[ 19人 ]

(3) 同じねだんの画用紙を6まい買ったら48円でした。

(式) [  $\square \times 6 = 48$  ]  
(□の求め方)  $48 \div 6 = 8 (=)$  答え[ 8円 ]

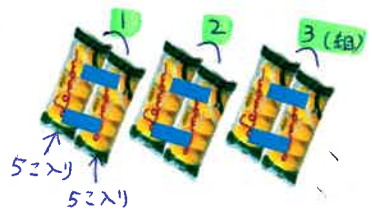
(4) 買って来たまんびつを同じ数ずつ9人に分けたら、1人分が6本になりました。

(式) [  $\square \div 9 = 6$  ]  
(□の求め方)  $6 \times 9 = 54 (=)$  答え[ 54本 ]

5 石けんを2ふくろずつ組にしたものが3組あります。

1ふくろには石けんが5こずつ入っています。

次の2つの式は、どのように考えて石けんの数を  
求めたのか、説明しましょう。(9点×2)



①  $(5 \times 2) \times 3$   
 $(5 \times 2) \times 3$ は、1組の石けんの数を先に求めて、次に3組分の  
石けんの数を求めました。

②  $5 \times (2 \times 3)$   
 $5 \times (2 \times 3)$ は、石けんのふくろの数を先に求めて、次に全部の  
石けんの数を求めました。

② 学習内容の理解を確認する。

44	基本	式と計算の順じよ	まとめの問題	学習日	／
----	----	----------	--------	-----	---

1 120円のクリームパンを1つと、180円のハムサンドを1つ買って、500円出しました。(5点×2)

① おつりを求めることばの式をかきましょう。

$$\boxed{\text{出したお金}} - \boxed{\text{代金}} = \boxed{\text{おつり}}$$

② おつりを求める計算を、①のことばの式をもとにして、( )を使って1つの式にかきましょう。

$$\text{(式)} \quad 500 - \underbrace{(120 + 180)}_{300 \text{円}} = 200 \text{円}$$

2 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。(3点×6)

①  $7 + 3 \times 5 = 22$

②  $21 - 14 \div 7 = 19$

③  $32 \div 4 + 4 \times 2 = 16$

④  $54 \div 6 - 3 \times 2 = 3$

⑤  $(14 - 12 \div 2) \times 2 = 16$

⑥  $(7 + 20 \div 5) \times 8 = 88$

3  $\square$ にあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

①  $4 \times 5 = \square \times 4$

②  $(6 \times 2) \times 5 = 6 \times (\square \times \square)$

③  $14 \times 5 + 6 \times 5 = (14 + 6) \times \square$

④  $19 \times 8 - 9 \times 8 = (19 - 9) \times \square$

4  $\square$ にあてはまる数をかきましょう。(5点×2)

①  $25 \times 24 = 25 \times (\square \times 6)$   
 $= (25 \times \square) \times 6$   
 $= (\square) \times 6$   
 $= \square$

②  $99 \times 46 = (\square - 1) \times 46$   
 $= \square \times 46 - 1 \times 46$   
 $= \square - 46$   
 $= \square$

5 くふうして、次の計算をしましょう。(3点×4)

①  $58 + 37 + 63 = 58 + 100 = 158$

②  $64 + 77 + 36 = 100 + 77 = 177$

③  $25 \times 36 = 25 \times 4 \times 9 = 25 \times 4 \times 9 = 900$

④  $99 \times 62 = (100 - 1) \times 62 = 100 \times 62 - 1 \times 62 = 6200 - 62 = 6138$

6  $\square$ の数は、どんな計算で求められますか。(式と答えをかきましょう)(4点×4)

①  $\square + 28 = 72$

②  $\square - 36 = 49$

$[ 72 - 28 = 44 ]$

$[ 49 + 36 = 85 ]$   
(36 + 49 = 85)

③  $\square \times 8 = 48$

④  $\square \div 3 = 21$

$[ 48 \div 8 = 6 ]$

$[ 21 \times 3 = 63 ]$   
(3 × 21 = 63)

7 450円のフランスパンと300円のサンドイッチを買い、1000円出すと、おつりは何円ですか。1つの式にかいて、答えを求めましょう。(10点)

(式)  $1000 - \underbrace{(450 + 300)}_{750 \text{円}} = 250 \text{円}$

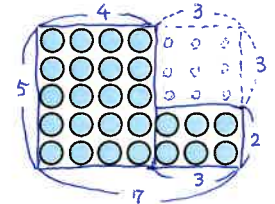
または  $[ 1000 - 450 - 300 = 250 \text{円} ]$

答え  $[ 250 \text{円} ]$

8 右の図の○の数を、次のようにして求めました。

⑦  $5 \times 4 + 2 \times 3$       ⑧  $5 \times 7 - 3 \times 3$

それぞれどのように考えたのかを説明しましょう。(6点×2)



⑦  $5 \times 4 + 2 \times 3$ は、5の4に分と2の3に分を合わせて求めました。

⑧  $5 \times 7 - 3 \times 3$ は、5の7に分から3の3に分を引いて求めました。